

2024年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社フレンドリー
代 表 者 名 代表取締役社長 國吉 康信
(コード番号 8209 東証スタンダード)
問合せ先責任者 取締役商品 営業企画本部長 八木 徹
(TEL 072-874-2747)

第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異及び
特別損失の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月10日に公表した2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想値と本日公表の実績値との差異及び特別損失の計上並びに2025年3月期通期(累計)業績予想の修正をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 第2四半期(中間期)業績予想と実績値の差異
(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,100	百万円 10	百万円 20	百万円 10	円 銭 △3.51
実績値 (B)	1,038	△21	△15	△28	△16.93
増減額(B-A)	△61	△31	△35	△38	
増減率(%)	△5.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2 四半期実績 (2024年3月期第 2四半期)	1,070	20	27	18	△0.65

2. 第2四半期(累計)業績予想と実績値の差異の理由

当中間会計期間の業績につきましては、労働環境改善のための閉店時間前倒しの解消が想定よりも遅れたことによる、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加え、想定よりも人件費が上昇したことにより、営業利益は計画比マイナス31百万円、経常利益は計画比マイナス35百万円、中間純利益は計画に見込んでいなかった固定資産の減損損失を5百万円計上したことにより計画比マイナス38百万円となり、前回発表予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の発生及びその内容

当中間会計期間におきまして、固定資産の減損損失5百万円を特別損失に計上いたしました。

4. 業績に与える影響

上記の特別損失は本日公表の「2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映しております。

5. 2025年3月期 通期業績予想数値の修正
(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,240	百万円 40	百万円 50	百万円 40	円 銭 0.00
今回修正予想(B)	2,157	△1	10	△9	△17.22
増減額(B-A)	△83	△41	△39	△49	
増減率(%)	△3.7	—	△78.4	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	2,067	△3	11	△6	△16.28

6. 修正の理由

売上高につきましては、2023年9月より店舗従業員の労働環境改善のため閉店時間を前倒ししており、人員体制が整った店舗より順次従来の営業時間に変更しておりますが、想定よりも人員体制の整備が遅れており、従来の営業時間への変更が後倒しになったことにより、2,157百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加え、想定よりも人件費が上昇したことにより、△1百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、上記要因により、10百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、計画に見込んでいなかった固定資産の減損損失を当中間会計期間に5百万円計上したことにより、△9百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。